

第2期第3版瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対する

ご意見と市の考え方

- ・ 募集期間 令和4年2月1日（火） ～ 令和4年2月28日（月）
- ・ 閲覧件数 50 件
- ・ 意見提出人数 1 人（内訳 市内 1 人、その他 0 人）
- ・ 意見数 4 件

いただいたご意見について、適宜要約した上、市の考え方について次のとおり公表します。

番号	ご意見	市の考え方（修正内容）
1	<p><人口減少に関して></p> <ul style="list-style-type: none">・ 若い子育て世代を応援する。若い人が増えない事には、人口増と活気が生まれない。・ 出産に関して出産費用又は出産祝金を支給する。・ 幼・小・中学の給食費は、無料化する。・ 働く親にとって春・夏・冬休みは子育ての中で、一番気を使う時期である。定年後の年金生活者の生きがい兼ねて、一定期間子育て、教育に関する学習を経て「子育て応援隊」の資格を取ってもらい、地区公民館や児童館等で終日児童相手の学習会や遊び、自主活動等の相手をしてもらいたい。	<p>人口減少対策として、子育て世代に対する支援は特に重要であるとして、多くの事業を掲載し取り組んでいます。</p> <p>ご意見をいただきました出産費用の支給については、各健康保険から出産育児一時金が出ているものの市としての出産費用の支給や出産祝金については、今のところ考えておりません。</p> <p>給食費につきましては、幼稚園の給食費のうち、ご飯、パンなどの主食費については無料としています。おかず等の副食費については、現在のところ無料にする予定はありません。また、小・中学校においても給食費を無料とするような検討はなされていない状況です。</p> <p>子育て世代への人的な支援として、市ではファミリーサポート事業として、育児の援助を受けたい方と援助をしたい方を組織して、地域における会員相互の援助活動を行う事業を実施しています。また、放課後や学校の長期休暇中の児童の保育について、放課後児童クラブ事業を実施し、保護者の負担が少しでも軽くなるようにしています。その他、市内には児童館が4カ所あり、春、夏、冬休みの児童の居場所として利用されています。</p>

2	<p><農業に関して></p> <p>・食料自給率を上げるためにも、耕作放棄地を減らすためにも、小麦・大豆を奨励作物にして、耕作放棄地を無くす。遺伝子組み換えでない安全な小麦を生産し、学校給食はもちろん、瑞浪市内の小麦製品は全て瑞浪産小麦で賄う事を目玉にする。そのために奨励金を出す。</p>	<p>本市では、国が行う農業者の経営所得安定対策の取組みの一つとして、田にて小麦や大豆などを栽培・出荷する農業者への定額交付を行っています。</p> <p>また、学校給食においては、地産地消の取組みとして地元産や岐阜県産の食材を扱うことを推奨しており、市内農家からもジャガイモやサツマイモ、タマネギなど数多くの野菜を出荷いただいています。</p> <p>食料自給率や耕作放棄地については、全国的な問題でもありますので、今後も国の施策に基づき、農業振興に係る各種対策を実施してまいります。</p>
3	<p><へき地の活性化について></p> <p>へき地は高齢者が多く、農業生産も思うようにいかない。そこで、花木、風土に合ったシデコブシ等を多く植栽して目玉にする。</p>	<p>地域農業の存続については、高齢化だけでなく、本市のような急峻で条件不利な農地が多い中山間地域では、難しい問題です。</p> <p>こうした地域では、集落組織などが国の施策である中山間地域等直接支払交付金制度を活用し、地域ぐるみで農地を管理、特産作物を栽培するなど、各地域で工夫を凝らしながら農地を守る取組みをしています。</p> <p>また、地域の景観性の向上については、各地域のまちづくり推進組織により、その地域の風土に合った花木の植栽などの取組みが積極的に行われています。本市では、今後もこうした取組みを支援していくことで、地域農業の推進と景観性の向上を図ってまいります。</p>
4	<p><若い人の力の活用に関して></p> <p>市内に大学があるのだから、大学と連携してまちづくり課や地域活性課などで、若い人の視点からみたまちづくりを提言してもらってはどうか。</p>	<p>市内大学・高校とは、関係を密にして域学連携に取り組んでいます。</p> <p>市長と語る会では、市内大学生や高校生と年度ごとにテーマを設け、数多くの意見をいただいています。令和3年度は、「東濃厚生病院と土岐市立総合病院の再編について」「瑞浪駅周辺まちづくり」をテーマに意見・提案をいただきました。</p> <p>本総合戦略にも掲載している「域学連携推進事業」では、地域の課題解決や地域活性化のた</p>

		<p>め、学生が自ら提案し解決していく活動を支援しており、令和4年度からは市内大学生・高校生を対象としたまちづくりチームを結成することを計画しており、学生達が自ら企画した地域活動に大人を巻き込みながら実践することを通じ、若者が進んで行政参加を図り、まちの賑わいを創出することを目指します。</p> <p>行政運営において、若者の意見はとても重要であり、今後も様々な方法で若者の意見を伺い、市政に反映してまいります。</p>
--	--	---